# 実践編　3 模擬授業を通した授業改善のための研修

**ねらい**

- ○　具体的な授業場面を想定し、授業展開や発問の検討を行うことができる。
- ○　授業場面にかかわる協議を通して、個々の教師の指導力向上を図ることができる。

## 具体的なすすめかた

授業構想

↓

指導案作成

↓

**模擬授業**

意見を率直に言い合える雰囲気づくりが重要です

模擬授業で感じた疑問点等は、小さなことでも伝えましょう。

↓

模擬授業Ⅱ

授業構成を含めた最終チェックとして、模擬授業Ⅱを行うことができます。

↓

本時の授業

↓

授業研究会

模擬授業Ⅲ

事後検討会として模擬授業Ⅲを行い、指導内容をさらに深めていくことができます。

（１）研修についての説明（５分）

○研修のねらいやすすめかたについて説明する。

（２）模擬授業（４０分）

**模擬授業の持ち方**

○活動のつながりを考えたい
　→全体を通して行う

○一つ一つの活動を考えたい
　→導入や展開等、まとまりごとに行う

○本時のねらいを達成する活動を考えたい
　→メインの活動のみ行う

**協議の持ち方**

○指導者の発問や動き等、課題に気付いた時点で

○ひととおり模擬授業を行った後で

（３）研修のまとめ（１５分）

○出された意見を整理し、授業の改善案を全体で確認する。

↓

研究授業や日々の授業等で検証

○実際の授業では、模擬授業で想定できなかった児童生徒の反応に**「柔軟に対応する力」**が大切です。

○**普段の学級経営**が授業における児童生徒の反応に大きくかかわっていることを共通理解しておきましょう。